

令和6年度 第5回 播磨町子ども・子育て会議
議事概要

日時	令和7年(2025年)2月27日(木) 10:00~11:30
場所	播磨町役場第1庁舎3階 B・C会議室
出席者	播磨町子ども・子育て会議委員：18名 事務局：8名
協議事項	(1)パブリックコメントの実施結果報告について (2)「(仮称)播磨こども計画」の最終案について (3)「(仮称)播磨こども計画」の名称について (4)その他

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) パブリックコメントの実施結果報告について

会長

さっそく議事に入って参ります。まず、議事(1)パブリックコメントの実施結果報告についてです。まず、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

【資料に基づき説明】

会長

今ご説明いただいた部分についてご質問やご意見はございますか。特によろしいですか。ではこちらはホームページにも公開済みとのことですので、ご確認をお願いします。

(2) 「(仮称)播磨町こども計画」最終案について

会長

では議事(2)「(仮称)播磨町こども計画」最終案について、説明をよろしくをお願いします。

事務局

【資料に基づき説明】

会長

議事(2)について、資料2、3、4の説明をいただきました。この部分についてご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員

色々な方が目を通されると思いますが、資料4の7ページから、1号認定、2号認定、3号認定とあるのが、携わっている方なら分かりやすいですが、赤ちゃんが生まれたばかりなど関わっていない方にとっては自分がどこなのか分かりにくいと思うので、説明が入ったら分かりやすいと思います。

事務局

はじめて見る方にはこの概要版が入口だと思うので、分かりやすく説明を追加します。

会長

ありがとうございます。他にございませんか。私の方から2点お伺いします。

まず、資料3、こども版のこども計画、こちらはホームページに掲載されると伺いましたが、配布の予定はございませんか。

事務局

説明が漏れておりました。これは教育委員会との協議になると思うのですが、今回のアンケートはスクリーン、タブレットを使った回答で協力いただきましたので、また学校にもご協力いただいて、電子データで発信を行いたいと思います。

会長

ありがとうございます。ぜひ、こども達が手近で見られたらいいなと思ってお伺いしました。

もう一点は、読んでいる途中で担当課が抜けていると思ったのですが、枠が前のページから続いているだけでした。失礼いたしました。他にございますか。

委員

資料4のところ、7ページ、利用可能施設の幼稚園、認定こども園と名称が入っていますが、できれば定員も書き添えていただくとよく分かるかと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局

ご意見ありがとうございます。紙面との都合と、概要版ということもあり、どういう形で載せるかがお約束できないのですが、一度検討してみます。

委員

保護者の方もよく分かるのではないかと思いますので、よろしく願いいたします。

会長

その他、ご意見がありましたらお願いします。

委員

資料4の量の見込みと確保のところ、この確保というのはどういうことを見越していますか。例えば、これだけの確保できる状態の定員数であるという解釈で大丈夫ですか。

事務局

こちらはサービスの内容によっても確保方策の意味合いが変わってくるのですが、一般的に保育園、幼稚園、こども園については、委員からご指摘があったように定員を何人で設定しているのかが確保方策に計上できる数ということになっています。学童保育だけ柔軟な確保方策の形状ができると聞いており、学童の場合は弾力的な運用、定員を設定しているのに対して、播磨町は最大1.3倍まで受け入れができるという基準を設けていますので、その範囲内で受け入れが想定される人数設定をして募集人数の設定をしています。他のサービスに関しては、諸々基準が違うので、全部説明するというよりも気になるところがあればご指摘いただければ回答させていただきます。

会長

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

委員

確保量についての質問で、資料4、7ページのところで3歳以上のこどもの確保量がどんどん減っていますが、これは需要に対して減らしているという解釈でいいのでしょうか。3歳未満はどんどん不足があるため、一気に増やしていくというようなイメージですか。

事務局

おっしゃる通りで、7ページの(1)3歳以上のこどものところが、確保量としては460から始まり370まで下げているのは、実際の受け入れ自体は幼稚園などで可能ですが、設定している定員は徐々に下げ、ニーズが311人と47人の合計358人、それが受け入れできるくらいまで徐々に下げていくのが教育1号の考え方です。3歳未満のこどもについては、0、1、2歳がお待ちいただいている方が多いので、播磨町も頑張って定員を増やしたり、小規模保育事業所を計画上は作ろうと上げさせていただいていますが、それでもなお届いていない、定員ベースで見るとお待ちいただく方がどうしても出てしまう状況なので、喫緊の課題であることを前面に押し出した計画となっています。

会長

ありがとうございます。他にご意見や質問はよろしいですか。何かありましたら、後ほど伺いできればと思います。では議事を先に進めます。

(3)「(仮称)播磨町こども計画」の名称について

会長

本日の3点目、「(仮称)播磨町こども計画」の名称について、事務局より説明をいただきたい

と思います。

事務局

【資料に基づき説明】

会長

今、たくさんアイデア、ご意見を頂戴しております。多数決が良いかどうかというのは色々ご意見があろうかと思いますが、ひとまず数の多いところで3つを候補に残すところでご賛同いただけますか。他にもご意見をいただいておりますが、複数票が入っている「はりま こども・若者未来プロジェクト」「はりま みらいっこ計画」「はりま こども未来プラン」この3つの中から絞るところに移ります。何かこれがいいのではないか、こういう決め方がいいのではないかというのがあればご意見をお出しください。今確認したのですが、この名称は今日ご出席の委員の皆様で決めていただいたら良いということで、この3点から挙手ということになりますが、どれかに投票していただくという形式でどうでしょうか。

委員

この20案を考えたのですが、今までこの会に参加し、未来だったり、まんなかであったり、頭に残った言葉で考えさせていただきました。今出ている案では、”はりまみらいっこ”や”こども未来”が出てきていますが、計画の中は若者も入っているので、こどもだけではなく若者も入れたいというのが個人の見解です。

委員

今のご意見でもっともだなと思いましたが、せっかくこどもたちにアンケートで意見を求めたので、小中学生の意見を見ていただくと、4ページから12ページまで569件あるので、せっかくなのでここから合体させて拾えないか、ぜひこどもの意見を取り入れていただけたらと思います。

委員

委員のご意見ですが、自分の出したものを見た後にこどもたちが考えたものを見ると、アルファベットで書いてあるものがあり、播磨町にも外国の方が移住してきてきているので、入れるとカッコいいと思います。はりまのところを平仮名にしていたのですが、アルファベットに変えてもカッコいいなと思っておりました。

委員

ここでのルールですが、合体させてもいいのかというのを確認したいです。それと私の意見ですが、今までこどもプランとかこども計画ということで、こうだったらいいのにというものでしたが、プロジェクトというのは目的を達成するという、より使命感のあるものになってきます。言葉の強さが出るプロジェクトという言葉が斬新だと個人的に思いました。美術に著作権があるように、出てきた名称を切り貼りして合成することが可能なかどうかを決めていただければと思います。

会長

ありがとうございました。いくつもご意見を頂戴しました。整理をしていきたいと思います。委員からいただいた、合体してよいのかという点にご意見を頂戴したいところですが、それを考えていただいている間に、こども達の意見を反映できないかという意見もありました。小中学生の意見は3で始まっているものだと思います。

出てきた名称を合体させても良いのかというのは大事なことだと思うのですが、どうでしょうか。もう一点、プロジェクトという言葉がよいのではないかという意見もいただきました。まずこの点はいかがでしょうか。ご賛同いただけますか。

ではまず、プロジェクトという名称で落ち着くように考えていきたいと思います。今出ているところでは、「はりまこども・若者未来プロジェクト」「はりまこども虹色プロジェクト」と出ております。プロジェクトという言葉を活かしていく時に、この2つを候補として絞っていくのか、それともこれに何か合体させるかだと思いますが、どうでしょうか。

会長

グローバルな発展を見越して、はりまをアルファベットにという意見もあります。

資料9ページ左側、3-348の「プロジェクト HARIMA」に足していくとどうかというご意見も頂戴しております。3ということでこどもたちから出てきた案、プロジェクトという言葉が入っていること、HARIMAとアルファベット表記であることが、皆様から頂いたご意見を反映している部分かと思います。

一委員としての意見ですが、おそらく播磨町自体にたくさんの計画やプロジェクトがあると思います。これがこどもや若者に関することだと一見してわかる表記が必要だと思います。

委員

皆さんのお話を聞いていて、「はりま こども・若者未来プロジェクト」のはりまをローマ字にする、大文字なのか小文字なのかということもありますが、こどもたちが10数名英語表記にしているということは、それだけこどもたちの意見を吸い上げたということで、ここを英語表記にする案でもいいかと思いました。

会長

この時点で何かご意見はございませんか。確かに、最初に絞り、複数の投票があった3点の中の一つにプロジェクトという言葉が入っており、あとはこども、若者という言葉が入っており、あとははりまの部分アルファベット表記にするというのは、折衷案としては良いところかと思いますがいかがですか。

委員

名前をつける時に長々とつけるのは、個人的にあまり好きではありません。プロジェクト HARIMAにまた名前を入れると長々となりますが、どうでしょうか。ひらがなでも問題ないと思います。こどもの意見を取り入れることも大事ですが、くっつけていくと長くなっていきますので、その

辺のところを考えると名前をつけるべきではないかと思います。

委員

参考程度に、姫路のものは、「ひめじこども・若者みらいプラン」です。小学校の小さいこどもが読める漢字で、漢字の印象、ローマ字の印象も大きくなってきます。ワンポイントでローマ字とか、ワンポイントでプロジェクト、などは良いのですが、あまり盛りだくさんでもぼやけてしまうので、どの言葉を一番しっかりと大事にしたいのかを話し合いたいです。広報はりまなど、播磨町もひらがなのはりまが根づいていっています。

委員

個人的に、若者というのが古臭い、昭和な感じがあります。言い換えがはりまっ子とかみらいっこのかななど、もう少しうまく表現できたらいいと思います。

委員

子どもの意見をとりいれてくださるローマ字のHARIMAはありがたい反面、見た感じ長くなるというのは思いますので、私もひらがなが良いと思っています。委員のおっしゃるように、もう少し短くならないかと思っています。

委員

こども・若者を入れたいということですが、未来という言葉を入れれば、こども・若者を意味していることになっているのではないかと思います。

委員

計画は長い名称もありますが、結構みんな短縮して呼ぶことがあり、省略して言う場合、どう切り取るかを考えればいいと思います。

会長

皆様のご意見を伺っていますと、はりまはひらがな表記でよいでしょうか。あとはどこに一番重きをおくのかというご意見もいただいております、長くならない、というあたりでどうでしょうか。

委員

3つくらいに絞って、一旦そこからどれかにするのはどうですか。

委員

3つに絞るのであれば、子どもが分かりやすそうなもの、あるいはインパクトに特化したものなどであればよいかと思います。みんなで意見を出すと、誰にも伝わらないものになりがちなので、尖らせたいのか、分かりやすくしたいのか、他の自治体と似た感じで行きたいのか、その辺が大事だと思います。

会長

事務局の方でこれはぜひ残したいというのがあれば伝えていただいて、絞っていきましょう。

委員

はりまっこをつけると、移住を考える人にとって播磨町で生まれた子のことだと疎外感を感じるのではないかなと思います。こどもたちはみなみっ子、にしっ子と使っているのでよく使うのですが、地元意識が出てしまうのは、計画にとって、公平性が欠けてしまうため、広く播磨町内外ということを見ると、はりまっこという言葉は止めた方がいいと思います。あと、今論議になっているのが若者という言葉を入れるかということですが、私も若者は絶対入れる方がいいと思います。こどもということが非常にあいまいで、本来若者も含めてこどもであるのですが、世間一般にはこどもというと小学生・中学生までで、多くの人は小学生中心というイメージを持ってしまう。この計画は中学生、高校生も入るということを考えると若者は必要で、国の政策でもこども・若者というのはたくさんあります。シンプルにするならば先ほどの案のように「はりま こども未来プロジェクト」ですっきりするのではないのでしょうか。あとは若者を入れるかどうかを考えて決定してもいいのではないかと思います。

会長

たくさんご意見を頂戴しております。それぞれすべて取り入れることができればよいですが、それも難しくなっています。お伺いしていますと、最初に出ていた「はりま こども・若者未来プロジェクト」にするか、あるいはこれをベースにして少しブラッシュアップする、というのが皆様のご意見を反映できるように思いますが、いかがでしょうか。まだまだご意見があるところかと思いますが、先に進めさせてください。

「はりま こども・若者未来プロジェクト」をベースに皆様に揉んでいただきたいと思います。このままでよいか、あるいは少し削るか、若者という言葉あたりかと思いますが。これは私も一委員としての思いですが、確かに今回制定されているこども基本法では、年齢で切らない、発達過程にある人たちをこどもと呼ぶという定義があります。定義的には、こどもの中に若者も含まれると思いますが、一般の方々への発信力も必要かと思いますが。こどもが二十歳を超えてもこどもに含むというのは伝わりにくいと思い、若者という言葉はあった方がいいのではないかと皆様の意見をお聞きしながら思うところです。

他にいかがでしょうか。町の中でいろいろな計画の名称がある中での新しい計画の名称だと思いますので、そういう意味で事務局からのご意見をお伺いできればと思います。

事務局

色々な意見をいただき、それぞれ貴重なご意見だと思っております。委員に選んでいただいた「はりま こども・若者未来プロジェクト」はいいと思います。プロジェクトというのはあまりなじみがないので、斬新だと思っておりますが、皆様の意見を取り入れたということでいくならそれで進めていければと思います。

副会長

播磨町なのか、播磨なのかが気になっています。播磨ならかなり広い範囲だし、播磨町ならまさに播磨町で作るんだという意識が出るのではないかと、どちらがいいのだろうかと思います。

委員

みんなが未来という言葉をよく使っており、何でも未来と言っている感覚があります。未来を付けないといけないのかという気もします。どこを見ても同じような感じになって、播磨町のインパクトを与えるには別に未来を使わなくてもいいのではないかとと思うのですが。

会長

こどもの意見の中に、はりまこどもプロジェクトという案もあります。

委員

こどもプロジェクトという意味が変わってきます。こどもの未来をということ、国の施策も未来が入っています。こどもまんなかというのも施策に入っていると思うのですが、まんなかはここで出す必要はないと思いますが、未来はおそらくどこでも入ってくるキーワードになっています。私は、「はりま こども未来プロジェクト」にするのか、それとも若者を入れるかの二択で良いと思います。

委員

たとえば令和4年にこどもの定義が文科省から出ていて、若者も含むということ、教育関係者は知っていますが、一般的には知らないのではないかと、狭い意味でなく若者も入れた方がいいですが、若者がなければすっきりします。印象の問題かと思っています。

委員

プロジェクトというだけでも長いですから、前の方は短い方がきっといいだろうと思います。できるだけみんなが覚えやすい形にする方が良いと思います。

会長

ありがとうございます。ご意見を頂戴しましたように、これをベースにして、「はりま こども・若者未来プロジェクト」か「はりま こども未来プロジェクト」から選んでみるというのはいかがでしょうか。

会長

少し整理をします。一度挙手をお願いします。

「はりま こども未来プロジェクト」が8票、「はりま こども・若者みらいプロジェクト」10票となりました。僅差ですが「はりま こども・若者みらいプロジェクト」になりました。

「はりま こども・若者みらいプロジェクト」でご賛同いただけるようでしたら挙手をお願い

します。

皆様全員に挙手をいただきましたので「はりま こども・若者みらいプロジェクト」という名称で進めていただくようお願いいたします。たくさんのご意見を頂戴しありがとうございました。本日予定をしておりました議題は全て終了しました。マイクを事務局にお返しします。

(4) その他

事務局

事務局からの連絡がございます。名称についてたくさんのご意見をいただきありがとうございました。新しい計画の軽微な修正が今後行われます。内容については会長に全権を委任していただき、会長の承認をもって委員会の承認ということで進めたいと思います。ただ資料4で修正がございますので、短い期間ですが修正のご提示をさせていただきます。了解を取ったうえで会長に承認をとり進めたいと思います。よろしく申し上げます。

4. 閉会